

生音コンサート

美しきボサノバたち



イパネマの娘/黒いオルフェ/
ビリンバウ/ククルクク・パロマ/
マリアリスボア etc... ブラジル、
中南米やポルトガルの名曲たちを、
電気を通さないピュア・アコースティ
ックサウンドで、お楽しみください。

4/19²⁰²⁶
Sun.

MUSICASA

Open 18:00 Start 18:30
Music Charge 5,000 yen

MUSICASA

渋谷区西原3-33-1 美容室●

東口より徒歩2分

代々木上原駅

●花屋

〒

出演

EMiKO VOiCE vocal

助川太郎 guitar

太田恵資 violin

reservation



予約はこちら (要予約) →
meobossa@gmail.com

協賛：高橋メディカル，ペガサス音楽工房 後援：LATINA

Profile

ジャズ、ボサノバ、南米音楽を中心に歌うボーカリスト。繊細かつ大胆な表現力、即興性に富んだスキヤット、豊かな声の表現が特徴で、ポルトガル語、スペイン語、英語を自在に操り世界各国のリスナーを魅了している。

早稲田大学卒業後、米国パークリー音楽大学でジャズを学び、ニューヨークでの活動を経て帰国。ブラジル音楽ユニット「メヲコラソン」では助川太郎と、またジャズピアニスト、スガダイローとのデュオでは、即興演奏とジャズの新たな可能性を追求。更に、自ら率いる女性三声ボサノバコーラスグループ「トレス・パッサリーニョス」では、ハーモニーとボサノバの魅力を広めている。また、スキヤットの技術と楽しさを伝えるYouTubeチャンネル「スキヤット番長」としても注目を集め、多くのフォロワーから支持を得ている。

受賞歴には、神戸ジャズボーカルクイーンコンテスト準グランプリ（'05）さいたま新都心ジャズボーカルコンテスト優勝（'07）吉祥寺音楽祭吉音コンテストグランプリ（'08）などがあり、実力派として高い評価を得ている。ポルトガル、アメリカ、韓国、など海外でのライブ活動も活発に展開し、日本と世界を結ぶ音楽の架け橋として活躍中。



EMiKO VOiCE
(エミコ・ヴォイス)
vocal



助川太郎
guitar

ジャズ、ブラジル音楽、南米音楽を深く愛し、オリジナル曲を自作自演する演奏家。2001年 米国パークリー音楽大学、ギター科卒業。EMiKO VOiCEとのデュオ、ブラジル音楽ユニット「メヲコラソン」では2003 年より活動。現在までに5枚のアルバムを発表し、日経ホール、東京オペラシティ、ルーテル市ヶ谷などで毎年夏に開催される「なま音ホールコンサート」は毎回ソールドアウトの人気企画とし7年間継続。2013年、ソロギタリストとしての活動をスタート。ギター1本の完全独奏によるアルバム "This is guitarist" (COO-RECORDS) を発表し、ディスクユニオンJAZZチャートで初登場一位を獲得。「レコード芸術」「現代ギター」「ラティーナ」「CDジャーナル」などの音楽誌やサウヂサウダー ジ (J-WAVE) くにまるジャパン(文化放送)などのラジオ番組など 各種メディアに取り上げられ反響を呼ぶ。近年は生音ソロギターライブを活動の中心としつつ、様々なスタイルのミュージシャンと共演を重ねている。東京を拠点に日本全国へのツアーも継続中。制作したアルバムや絵画などの作品を自身のウェブショップ "鹿村~ROKUSONDO~"で発売。

熊本出身。鹿児島大学で化学を専攻。後、1983年に上京。数百年に及ぶ参加CDや、大河ドラマ「龍馬伝」、映画「るろうに剣心」などで個性的なバイオリンや日本人離れした声を聴く事ができる。これまでに、あがた森魚、忌野清志郎、石橋凌、宇崎竜童、カルメン・マキ、木村充揮(憂歌団)、Cocco、黒沢美香、山田うん等、多くのアーティストをサポート。渋谷知ラズオーケストラ、CICALA-MVTAのレギュラー・メンバー。最近の活動としては、自己のユニットYolcu-Yoldasの他、山下洋輔氏とのトルコ公演、佐藤允彦氏とのインド・ネパール公演、マヌーシュ・スウィングの巨匠Tchavolo Schmittとの共演など。またhulu連ドラ「雨が降ると君は優しい」や串田和美演出「24番地の桜の園」(シアターコクーン)では作編曲と音楽監督を手掛ける。



太田恵資
violin